

基本理念4

人々が行きかい

自然と共生する便利で快適な
まちづくり

政策目標 1 0	魅力にあふれ住みたいまち
政策目標 1 1	だれもが快適に過ごせるまち
政策目標 1 2	快適な水環境が守られるまち
政策目標 1 3	地域の魅力と活力のある産業のまち
政策目標 1 4	農地の適正で有効な利用を図る

政策目標
10

魅力にあふれ住み続けたいまち

目指すべき将来像

都市計画制度が適正に運用され、市街地と自然の良好なバランスが保たれている
地域特性を生かしたきめ細かなルールで、秩序ある土地利用や良好な住環境が維持・創出されている
中心市街地や都市拠点の利便性が高まり、徒歩や公共交通、自転車を利用する割合が高まっている
都市の防災性能が向上している
地域特性を生かした魅力ある景観を、市民・事業者・行政が一体となって、維持・創出している
豊かな自然環境が保全され、身近にみどりが感じられる

政策目標における3年間の目指すべき方向性

昭和45年に市街化区域と市街化調整区域に区域区分され、市街地と自然環境のバランスが良好に保たれています。今後は、大きな区域区分の変更を行わず、現在の都市構造を基本に魅力と活力のある都市空間の形成を図ります。

市街地の良好な住環境の整備、開発、保全及び景観形成などの取り組みを効果的に実施するため、市民を対象にした講座や勉強会を通して啓発活動を行いながら、地区計画及び都市計画提案制度などを活用し、市民との連携によるまちづくりを進めます。

徒歩や公共交通、自転車の利用により、歩行者に配慮した環境負荷の少ない交通体系の形成を進め、公共交通利用回数の増加を図ります。

市域の貴重なみどりの保全・再生・創出を図るため、生物多様性のある自然を守り、次世代へ豊かなみどりを継承します。

また、災害に強いまちづくりを目指し特定建築物や住宅の耐震化を進め、安全で住みやすい都市を形成します。

一般会計	件数	概算事業費
政策的事業	38	576 百万円
定例・定型的事業	99	224 百万円
人件費		1,439 百万円

一般会計概算事業費合計	2,239 百万円
-------------	-----------

施策目標：36

地域特性を生かした都市空間をつくる（都市計画課）



施策の方向性

1 地域特性に配慮した土地利用の推進

魅力と活力ある都市空間の形成に向け、地域特性に応じた適切な規制・誘導で、良好な住宅地などの形成や自然環境に配慮した土地利用を進めます。

2 地域特性を生かしたルールの整備

安心して住み続けることができる住環境の形成に向け、地域住民と協働して、地域の特性を生かした地区計画など、ルールの制定や拡充を進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
地区計画を活用して快適な住環境の整備を規定した制度の導入件数	6件 (平成21年度)	8件 (累計)	快適な住環境が誘導されているかを測ります。地区計画制度の啓発を実施し、地区の実情にあったきめ細やかな規制・誘導を行います。 現在、調整中である2地区について、平成25年度までに地区計画を指定することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
地区計画制度の啓発活動		地区計画制度とは、居住環境などの課題を抱える地区において、その地区の良好な居住環境などの形成及び維持・保全を目標に地区独自のルールを定める都市計画制度です。本制度の推進に当たっては、地区内住民と、この制度の充分な理解と合意形成が必要であり、そのための啓発活動を行います。 ※啓発活動件数（平成21年度）：7件 ※地区計画指定件数（平成21年度）：6地区 （上の田地区 柳島地区 室田二丁目地区 香川下寺尾地区 茅ヶ崎漁港地区 浜見平地区）				指標 啓発活動件数	
施策の方向性						目標	
1 地域特性に配慮した土地利用の推進						平成23年度 3件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 3件	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 3件	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
優良建築物整備事業		安全・安心なまちづくりを推進するため、建替えの相談があった物件について建物の共同化、不燃化を図る補助制度（優良建築物整備事業）の説明を行います。 ※相談件数（平成21年度）：1件				指標 相談件数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1件	
1 地域特性に配慮した土地利用の推進						平成24年度 1件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1件	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 1件	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
用途地域見直し事業		指定用途地域と現状の土地利用が乖離している工業系用途地域及び行政拠点地区公共施設再編整備に伴う市役所周辺地区の用途地域の見直しを検討し、都市計画変更手続きを実施します。				指標 都市計画手続き	
施策の方向性						目標	
1 地域特性に配慮した土地利用の推進						平成23年度 用途見直し素案、 原案の作成	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	平成24年度 都市計画手続き、 図書作成		
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 一	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☒ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

都市計画決定及び変更業務

(1 地域特性に配慮した土地利用の推進)

魅力と活力ある都市空間の形成に向け、地域特性に応じた適切な規制・誘導で、良好な住宅などの形成や自然環境に配慮した土地利用を進めるため、都市計画決定及び変更手続きを行います。

都市計画の周知業務

(1 地域特性に配慮した土地利用の推進)

都市計画総括図や都市計画概要図などの頒布、市民まなび講座開催などにより、市民事業者に対し都市計画の周知に努めます。

都市計画基礎調査業務

(1 地域特性に配慮した土地利用の推進)

都市計画の基礎資料とするため、5年に1度、人口規模、産業分類別就業人口規模、市街地面積、土地利用、交通量、都市の現状・将来の見通しなどについて、調査を行います。

都市計画審議会業務

(1 地域特性に配慮した土地利用の推進)

都市計画法の規定により、その権限に属する事項の調査審議を行う業務及び市長の諮問に応じて調査審議した結果を答申する業務を行います。

住居表示未実施区域の住居表示整備

(2 地域特性を生かしたルールを整備)

住居表示未実施地区への住居表示事業の啓発、また街区変更などが必要となっている地区への説明会を実施します。

施策目標：37

住みやすく住み続けたいまちをつくる（都市政策課）



施策の方向性

1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築

集約型都市構造の実現に向け、利便性が高く、人と環境にやさしい交通体系を構築します。また、公共交通を優先した新たな交通システムを導入します。

2 鉄道輸送力の増強

J R 東海道本線、J R 相模線の輸送力増強について事業者へ働きかけます。

3 防災体制の構築

都市防災推進事業の推進を図り、災害時の被害を軽減し、被災後の迅速な復旧のため、自助・共助・公助による取り組み体制の構築を目指します。

4 住環境整備の調査・研究

住環境整備を進めるため、必要な支援や法制度の導入を進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
年間公共交通利用回数 （1人当たり）	401.5回 （平成21年度）	420.5回	市民が公共交通機関をどれだけ使用しているかを測ります。交通事業者と連携を図りながら、公共交通の利用促進に向けた取り組みを行います。過去の伸び率を勘案し、毎年1%程度増加する数値を目標としました。 年間公共交通利用回数：鉄道・路線バス・コミュニティバスの利用者数をその年度の人口で割り返すことにより、市民1人当たりの年間の公共交通利用回数を算出します。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
コミュニティバス運行事業		各路線の運行改善を行いつつ、市民からの要望の多い地区への乗り入れや、平成14年3月策定の「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」の見直しなどにも着手し、市内全体での支線としての体系をより完成度の高いものとします。 また、コミュニティバスを使用したイベントなども実施し、利用促進を図ります。 ※コミュニティバス利用者数（平成21年度）：333,641人 ※導入済みコミュニティバス路線：4路線（中海岸南湖循環 北部循環 鶴嶺循環 東部循環）				指標 コミュニティバス利用者数
施策の方向性						目標 平成23年度 370,000人
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成24年度 410,000人
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 455,000人
事業主体	市	平成23～25事業費	341,904 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
（仮称）茅ヶ崎市地域公共交通会議の推進		学識者や交通事業者、警察、市民などで構成した（仮称）茅ヶ崎市地域公共交通会議を設置し、関係者による合意形成を図る場として位置づけます。また需要予測調査、アンケート調査及び新たな交通システムの研究を行います。 ※平成23年度（仮称）茅ヶ崎市地域公共交通会議設置予定				指標 （仮称）茅ヶ崎市地域公共交通会議の開催回数	
						目標 平成23年度 1回	
施策の方向性						平成24年度 2回	
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成25年度 2回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	10,581 千円			平成25年度 2回	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
茅ヶ崎市乗合交通整備計画推進事業（ノンステップバス導入促進）		平成14年3月策定の「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」に基づき、神奈川中央交通茅ヶ崎営業所にある路線バス車両の30%をノンステップバスとする（移動等円滑化の促進に関する基本方針）ため、事業者に対し協調補助を行い、ノンステップバス3台を導入します。 ※ノンステップバス累計台数（平成22年度）：27台				指標 ノンステップバス累計台数	
施策の方向性						目標 平成23年度 28台	
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成24年度 29台	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 30台	
事業主体	市	平成23～25事業費	5,700 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
ちがさき自転車プラン推進事業		平成16年3月策定の「ちがさき自転車プラン」の将来像である「人と環境にやさしい自転車のまち茅ヶ崎」を実現するためにちがさき自転車プラン推進連絡協議会、ちがさき自転車プランアクション22、ちがさき自転車プラン庁内推進会議の3者が、連携を図りながら「ちがさき自転車プラン」に位置づけられた施策を推進します。 ※連絡協議会の開催回数（平成21年度）：3回				指標 連絡協議会の開催回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 2回	
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成24年度 2回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 2回	
事業主体	市	平成23～25事業費	7,343 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
ちがさき自転車プラン推進事業(サイクルアンドバスライド)		市と交通事業者が連携し、必要性の高い地区に、バス利用者がバス停まで自転車を利用し、バス停付近に駐輪できるサイクルアンドバスライドについて、これまで市内5か所に設置しました。 新規設置に向けて、ニーズ調査を行い、具体的な調整を行います。 また、新規設置箇所の検討を行うとともに既存の箇所についても適正な維持管理を行います。				指標 サイクルアンドバスライド新規設置	
施策の方向性						目標 平成23年度 ニーズ調査	
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成24年度 ニーズ調査	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 新規設置に向けた 具体的調整	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
ちがさき自転車プラン推進事業(自転車走行環境調査)		平成16年3月策定の「ちがさき自転車プラン」に位置づけられた既存道路の整備・改善、モデル路線の整備について、関係機関などとの協議や市民と協働しながら、自転車走行環境調査を基に市内道路での整備のあり方や自転車ネットワークの検討を行います。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築						平成23年度 整備のあり方・ネットワークの検討	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 整備のあり方・ネットワークの検討	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 整備のあり方・ネットワークの検討	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
バリアフリー基本構想策定		公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上の促進を図るため、移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、関係事業者と協議し基本構想を作成します。基本構想の策定後、基本構想に基づいた事業を実施するための特定事業計画（道路特定事業等）を作成し、バリアフリー化事業を推進します。				指標 （仮称）茅ヶ崎市交通バリアフリー基本構想策定委員会の設置及び開催回数 目標 平成23年度 — 平成24年度 — 平成25年度 委員会の設置 開催回数 4回	
施策の方向性							
1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築							
新規		事業実施年度				25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費		5,000 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
（仮称）西久保駅の設置要請		神奈川県及び県内市町村で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、国やJR東日本に対して、ＪＲ相模線の香川駅～北茅ヶ崎駅間に新駅設置の要望活動を行います。 ※要望回数（平成21年度）：１回				指標	
						要望回数	
						目標	
施策の方向性						平成23年度 １回	
2 鉄道輸送力の増強						平成24年度 １回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市・民間	平成23～25事業費	87 千円			平成25年度 １回	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☒ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
JR茅ヶ崎駅ホームの拡幅要請		神奈川県及び県内市町村で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、国やJR東日本に対して、茅ヶ崎駅ホーム拡幅の要望活動を行います。 ※要望回数（平成21年度）：1回				指標 要望回数	
施策の方向性						目標	
2 鉄道輸送力の増強						平成23年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 1回	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 1回	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☒ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
JR相模線の各私鉄との相互乗り入れ要請		神奈川県及び県内市町村で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、国やJR東日本に対して、相模鉄道のJR相模線への乗り入れの要望活動を行います。 ※要望回数（平成21年度）：1回				指標 要望回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1回	
2 鉄道輸送力の増強						平成24年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1回	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
JR相模線の複線化の整備促進		神奈川県及び沿線市町で構成する相模線複線化等期成同盟会を通じて、国やJR東日本に対して、JR相模線の全線複線化に向けた要望活動を行います。 ※要望回数（平成21年度）：1回				指標 要望回数	
施策の方向性						目標	
2 鉄道輸送力の増強						平成23年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 1回	
事業主体	民間	平成23～25事業費	300 千円			平成25年度 1回	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
JR相模線北茅ヶ崎駅整備事業		バリアフリー新法の基本方針に基づき、1日当たりの利用者が5千人以上の駅については、段差解消などのバリアフリー化が位置付けられており、北茅ヶ崎駅利用客の安全性・利便性の向上及び公共交通利用促進を図るため、駅のバリアフリー化とあわせて自由通路の設置や駅舎橋上化などの整備の検討を行います。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
2 鉄道輸送力の増強						平成23年度 基礎調査	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 基礎調査	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 基礎調査	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 ■ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
JR東海道本線の貨物線旅客線化の促進		神奈川県及び県内市町村で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、国やJR東日本に対して、東海道貨物線の本格的な旅客線化の要望活動を行います。 ※要望回数（平成21年度）：1回				指標 要望回数	
施策の方向性						目標	
2 鉄道輸送力の増強						平成23年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 1回	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 1回	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
ツインシティ整備・東海道新幹線新駅設置促進事業		寒川町倉見地区に新幹線新駅を誘致し、同地区及び相模川対岸に位置する平塚市大神地区に環境共生モデル都市（ツインシティ）を整備するため、期成同盟会総会参加、新駅設置要望・陳情活動、フォーラム開催・イベント参加などの広報活動を行います。 ※広報活動回数（平成21年度）：5回				指標 広報活動回数	
施策の方向性						目標	
2 鉄道輸送力の増強						平成23年度 5回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 5回	
事業主体	県・市	平成23～25事業費	540 千円			平成25年度 5回	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
都市防災推進事業		市民と協働で防災都市づくりワークショップを開催します。同ワークショップの中で、地域の防災上の課題について、地域がどのような体制で取り組むべきかを検証し、地域主体の防災都市づくりの仕組みを構築していくとともに、行政の役割についても確認します。 ※都市防災の推進（平成21年度）：ワークショップの開催（浜竹一・二丁目地内対象）				指標 都市防災の推進	
施策の方向性						目標	
3 防災体制の構築						平成23年度 ワークショップなど取りまとめ・実施支援 平成24年度 ワークショップなど実施支援	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	ワークショップなど実施支援	
事業主体	市	平成23～25事業費	15,360 千円			平成25年度 地域危険度調査・ワークショップなど実施支援	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
住環境整備事業の調査・研究		多様化する居住ニーズを世代ごとに捉え、既存ストックの住宅活用ができるような制度の導入のための調査研究を行い、住宅政策の方向性を明確化します。また、本市の住宅に係る支援制度などを整理し、活用できるよう誘導を図ります。				指標 住宅政策の方向性の明確化
施策の方向性						目標 平成23年度 調査・研究
4 住環境整備の調査・研究						平成24年度 調査・研究
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 調査・研究
事業主体	市	平成23～25事業費	9,785 千円			平成25年度 調査・研究
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
中心市街地活性化事業		人口減少、少子高齢化、多様化する消費者のニーズを捉え、今後の中心市街地のあり方について調査研究を行います。また、行政拠点地区の再整備などに併せて、中心市街地の活性化に関する法律に基づく認定計画策定に向け検討を行います。				指標 中心市街地の方向性の明確化	
施策の方向性						目標 平成23年度 調査・研究	
4 住環境整備の調査・研究						平成24年度 調査・研究	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 調査・研究	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 調査・研究	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☒ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☒ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

主要な定例・定型的事業

市内主要幹線道路等交通量調査 (1 集約型都市構造の実現に向けた交通体系の構築)

茅ヶ崎市における交通実態調査を把握するとともに将来の道路計画及び建設などの立案・検討のため基礎資料を得ることとし、3年に1度調査を行います。

都市マスタープランの進行管理・見直し (4 住環境整備の調査・研究)

都市マスタープランの重点的に取り組む施策や市民と協働で取り組む戦略プランについて、進行管理を実施し、進捗状況を把握します。

施策目標：38**美しい景観を形成し、命をはぐくむみどりを保全・再生・創出する****(景観みどり課)****施策の方向性****1 地域特性を生かした景観の形成**

歴史の積み重ねの中で形づくられてきた「地域らしさ（地域特性）」を感じさせる魅力的な景観を、市民・事業者・行政が一体となって守り、育て、創造していくことで、快適な都市環境を実現します。

2 みどりの保全・再生・創出

生物多様性のある自然を守り、次世代へ豊かなみどりを継承し、快適な都市と健康で心豊かな生活を支えるみどりを創造します。

都市緑地法などの法制度の活用や茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例の見直しなどにより、みどりの保全・再生・創出に努めます。

市民・事業者・行政の主体的な取り組みと協働による実効性のあるみどり豊かなまちづくりを推進します。

計画の実効性を高めていくために、緑のまちづくり基金の充実を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
市域面積における緑地面積率	17.4% (平成21年度)	19.3%	市域の緑地面積を測ります。みどりの保全・再生・創出を効果的に実施し、緑地面積を増やします。「みどりの基本計画」策定時から緑地面積率の伸び率を案分し、緑地面積を年0.5%程度増加させる数値を目標としました。 緑地面積率：公園・農園・緑地などの合計面積を市域面積で除したものの。
景観資源の指定件数	7件 (平成21年度)	11件	地域のシンボルとして、市民などに親しまれている歴史的建造物や樹木を景観資源に指定します。景観資源の維持管理を実施するとともに市民などに広く周知・啓発活動を行います。毎年、1件程度指定することを目標としました。 景観資源：景観法に基づき規定する景観重要建造物、景観重要樹木及び茅ヶ崎市景観条例に基づき指定するちがさき景観資源

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
景観資源の保全		平成20年7月策定の「茅ヶ崎市景観計画」の景観重要建造物、景観重要樹木、ちがさき景観資源の指定方針に則した建造物、樹木、資源を抽出し、景観法及び茅ヶ崎市景観条例に基づいて、本市の景観資源として指定します。なお、景観重要建造物、景観重要樹木の所有者には、当該建造物及び樹木を中心とした良好な景観の保全と形成を図るための維持管理に必要な経費の助成を行います。また、広く市民などに対し周知・啓発活動を行います。 ※景観資源の指定（累計）（平成21年度）：7件				指標 景観資源の指定件数（累計）
施策の方向性						目標
1 地域特性を生かした景観の形成						平成23年度 9件
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 10件
事業主体	市	平成23～25事業費	5,614 千円			平成25年度 11件
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
特別景観まちづくり 地区景観推進事業		さらなる景観の向上を図るため、茅ヶ崎駅北口周辺地区の緑化の推進を図ります。また平成23年4月に特別景観まちづくり地区に指定した浜見平地区及び茅ヶ崎海岸・漁港周辺地区において、周知活動を行います。 ※周知活動などの回数（平成21年度）：1回				指標 周知活動などの回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1回	
1 地域特性を生かした 景観の形成						平成24年度 1回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1回	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☒ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☒ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☒ 南湖 ☐ 湘北	☒ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☒ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
特別景観まちづくり地区及び景観重要公共施設指定業務		各地域特性及び施設特性を把握し、茅ヶ崎の良好な景観形成の手本となるようなまちづくりを進めるため、市民・事業者・行政の関わり方や参加方法、規制・基準の考え方を整理し、特別景観まちづくり地区及び景観重要公共施設の指定に向けた研究を行います。 ※研究会などの開催回数（平成21年度）：1回 ※特別景観まちづくり地区数（平成23年4月予定）：3地区 （茅ヶ崎駅北口周辺地区 浜見平地区 茅ヶ崎海岸・漁港周辺地区）				指標 研究会などの開催回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 2回	
1 地域特性を生かした景観の形成						平成24年度 3回	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 6回	
事業主体	市	平成23～25事業費	5,400 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	☐ 全市	■ 茅ヶ崎 ■ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	■ 海岸 ■ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
（仮称）茅ヶ崎市公共サインガイドラインの策定		誰にでも分かりやすい公共サインの設置を推進するため、公共サインのデザインや設置場所・設置方法を定める（仮称）茅ヶ崎市公共サインガイドラインの策定に向けた調査・研究を実施します。				指標 （仮称）茅ヶ崎市公共サインガイドラインの策定
施策の方向性						目標 平成23年度 調査・研究
1 地域特性を生かした景観の形成						平成24年度 調査・研究
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 調査・研究
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 調査・研究
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
(仮称)まちづくりセンターの調査研究		景観法を活用し、市民・事業者・行政が連携・協働してまちづくりを進めるため、都市景観の側面から本市のまちづくりを総合的にとらえ、専門的な知識の裏付けをもって事業展開することにより、行政だけではなしえない、住民主導型のきめ細やかなまちづくりを持続的に推進できる組織の設立について調査・研究を進めます。 ※検討会議の開催回数（平成21年度）：１回				指標 (仮称)まちづくりセンターの設立	
施策の方向性						目標	
1 地域特性を生かした景観の形成						平成23年度 調査・研究	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 調査・研究	
事業主体	市	平成23～25事業費	150 千円			平成25年度 調査・研究	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
特別緑地保全地区指定の推進		近年、資材置き場や荒廃地が見られるようになっており、北部丘陵のみどり及び動植物の生育・生息環境を保全するため、北部丘陵の特別緑地保全地区の指定及び緑地の維持管理手法の検討を進めます。 ※特別緑地保全地区指定累計箇所数（平成21年度）：0か所				指標 特別緑地保全地区の累計指定箇所数	
施策の方向性						目標 平成23年度 1か所	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 1か所	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1か所	
事業主体	市	平成23～25事業費	25,700 千円			平成25年度 1か所	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☒ 松林	☐ 南湖 ☒ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☒ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例の見直し		自然環境を保全するため、「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」に保全すべき地域の指定や貴重種の生育・生息環境への配慮義務を盛り込むことについて検討します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 改正案の検討	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 改正案の検討	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 条例改正	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標		
自然環境評価調査のコア地域における管理保全の推進		自然環境評価調査において、特に重要とした市内7か所のコア地域ごとに保全管理計画を作成するとともに、市民や土地所有者から構成される保全管理活動組織を設置します。 ※保全管理計画の累計作成数（平成21年度）：0地域				指標 保全管理計画の累計作成数		
施策の方向性						目標 平成23年度 3地域		
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 5地域		
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 7地域		
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円					
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心						
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☒ 松林	☐ 南湖 ☒ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☒ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☒ 湘南 ☒ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標	
自然環境基礎調査業務		生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画である生物多様性地域戦略を策定するため、北部丘陵を中心とした基礎調査を実施するとともに市民や学識経験者などで構成される生物多様性地域戦略検討会議を設置します。 ※平成23年度生物多様性地域戦略検討会議設置予定				指標 生物多様性地域戦略検討会議の開催回数	
施策の方向性						目標 平成23年度 3回	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 3回	
継続		事業実施年度	23年度	24年度		平成25年度 3回	
事業主体	市	平成23～25事業費	10,000 千円			平成25年度 —	
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 ■ 松林	□ 南湖 ■ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	■ 鶴嶺西 □ 浜須賀	■ 湘南 ■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標		
自然環境評価マップデータの更新		市域の自然環境の指標種を専門家や市民団体などと市が協働で調査を実施し、その調査内容を地理情報システムへ反映することにより、自然環境保全のための施策に活用します。				指標 自然環境調査のデータ件数		
施策の方向性						目標 平成23年度 2,000件		
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 －		
新規		事業実施年度	23年度			平成25年度 －		
事業主体	市	平成23～25事業費	868 千円					
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心						
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 ■ 湘南 ■ 松林 ■ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 ■ 小出							

事業名		事業概要				指標・目標	
緑化重点地区の緑化推進		みどりや公園緑地が不足している地区の解消を図るため、建築物の屋上や壁面の緑化を行った事業者などに補助金を助成する制度を創設します。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 助成金制度の創設	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 助成件数 1件	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 助成件数 1件	
事業主体	市	平成23～25事業費	3,000 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☒ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☒ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☒ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標		
茅ヶ崎市緑のまちづくり基金の充実		良好な自然環境を形成している緑地の取得・維持管理を進めるため、基金の充実を図ります。 また、基金を使用する優先度などの基準を検討します。 ※緑のまちづくり基金の積立額（平成21年度）：20,000千円				指標 緑のまちづくり基金の積立額		
施策の方向性						目標 平成23年度 3,000千円		
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 3,000千円		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 3,000千円		
事業主体	市	平成23～25事業費	5,569 千円					
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心						
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標
開発事業に伴う緑化の基準の見直し		開発事業に伴う緑化の基準を見直し、接道部の緑化や既存樹木の利活用など新たな緑化基準を設け、公園や緑化の質の向上を図ります。 また、開発事業完了後の緑地の適正な維持管理を確認できる体制づくりを進めます。				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標 平成23年度 —
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 改正案の検討
新規		事業実施年度		24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	— 千円			平成25年度 条例の改正
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標		
生け垣の築造及び保全事業		生け垣の築造と保全による緑化推進を図るため、倒壊の危険性があるブロック塀などの生け垣への転換や生け垣の保全を行うとともに市民の緑化推進への意識向上を図ります。 ※生け垣の築造延長（平成21年度）：364m				指標 生け垣の築造延長		
施策の方向性						目標 平成23年度 500m		
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 500m		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 500m		
事業主体	市	平成23～25事業費	24,498 千円					
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心						
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出							

事業名		事業概要				指標・目標	
市民緑地制度の推進		緑地の保全や市民のレクリエーション空間創出のため、市民緑地制度を活用し、良好な緑地を市民に公開します。 また、市民との協働による緑地の維持管理手法について検討を進めます。 ※市民緑地制度：土地所有者や建築物などの所有者と市が契約し、地域の人々が利用できる緑地や緑化施設を公開する制度				指標 市民緑地の設置累計箇所数	
施策の方向性						目標 平成23年度 0か所	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 1か所	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1か所	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,400 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
グリーンバンク事業		民有地緑化の推進を図るため、家屋の建て替えや引っ越しにより引き取った不用樹木を希望する市民に配布します。 ※不用樹木（高木）の配布本数：26本				指標 不用樹木（高木）の配布本数
施策の方向性						目標 平成23年度 30本
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 30本
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 30本
事業主体	市	平成23～25事業費	1,000 千円			
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
記念樹配布事業		緑化の推進と緑化意識の向上のため、住宅新築の際に記念樹を配布します。 ※記念樹配布対象者に対する引き取り率（平成21年度）：44.4%				指標 記念樹配布対象者に対する引き取り率	
施策の方向性						目標 平成23年度 50%	
2 みどりの保全・再生・創出						平成24年度 50%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 50%	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,400 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

違反屋外広告物除去事業

(1 地域特性を生かした景観の形成)

都市の良好な景観を維持するとともに、歩行者などの安全を確保するため、違反屋外広告物の除去やパトロールを実施します。

景観条例に基づく届出等の受理事務

(1 地域特性を生かした景観の形成)

良好な景観の保全を図るため、一定規模以上の建築物及び工作物などについて、景観条例に基づき良好な景観形成への誘導を図ります。

緑化教室事業

(2 みどりの保全・再生・創出)

緑化に対する具体的な手法などを広く周知する中で、市民の緑化推進に対する意識の醸成を図るため、緑化教室を開催します。

施策目標：39

安全で秩序ある住環境を形成する（建築指導課）



施策の方向性

1 建築確認・許認可制度の適正な運用

建築確認・許認可制度を適正に運用することで、安全、防火、衛生面などが良好なまちづくりを進めます。

2 バリアフリー化や福祉のまちづくりの推進

「バリアフリー新法」や「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」などにに基づき、建築物などのバリアフリー化やユニバーサルデザイン化を図り、だれもが暮らしやすいまちをつくりまします。

3 住宅・建築物の耐震化

地震に強いまちづくりを目指し、住宅、建築物の耐震補強や建て替えを促進し、耐震化率の向上を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
特定建築物や住宅の耐震化率	特定建築物 86.1% (平成21年度)	89.0%	市内の特定建築物及び住宅がどれだけ耐震化されているかを測ります。耐震改修促進計画に基づき、耐震化を行った住宅などに補助金を交付するとともに耐震化の普及・啓発を実施し、住宅などの耐震化率を向上させます。 平成20年度に策定した「茅ヶ崎市耐震改修促進計画（実施計画）」に設定した数値を目標としました。 耐震化率：耐震性のある建物数を建物総数で除したものの。 特定建築物：多数の人が利用する建築物（学校・病院など）や地震時に通行を確保しなければならない道路沿いの建築物
	住宅 69.1% (平成21年度)	84.0%	

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
耐震改修促進計画事業		市内にある建築物の耐震化率向上による安全、安心なまちづくりを目指すため、市民のニーズに応じた補助制度の構築や茅ヶ崎たいあっぷ90推進協議会を軸とした普及、啓発を進めます。また、補助金交付制度に限定しない耐震化への支援を行います。 ※住宅の耐震化率（平成21年度）：69.1%				指標 住宅の耐震化率	
施策の方向性						目標 平成23年度 76.0%	
3 住宅・建築物の耐震化						平成24年度 80.0%	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 84.0%	
事業主体	市	平成23～25事業費	92,424 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

建築確認及び検査に関する業務

(1 建築確認・許認可制度の適正な運用)

建築確認申請などに対し、適正かつ迅速に確認審査・検査業務を実施します。

神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例に関する業務

(2 バリアフリー化や福祉のまちづくりの推進)

高齢者、障害者などの移動等の円滑化の促進に関する法律を補完し、バリアフリー化や福祉のまちづくりを促進するため、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に基づく指導・助言・検査業務などを実施します。

建築協定に関する業務

(1 建築確認・許認可制度の適正な運用)

良好な住環境を保全することにより秩序あるまちなみを形成するため、開発行為などにあわせて建築協定への誘導を図ります。

既存の建築協定については、関係権利者に対して適切に運用できるように周知します。

建設リサイクル法に関する業務

(1 建築確認・許認可制度の適正な運用)

建設廃材の不法投棄などの廃棄物をめぐる問題が多発しており、環境への負荷を軽減するため、解体事業者への適正な指導や定期的な解体現場パトロールを実施します。

震後対策（応急危険度判定）推進事業

(3 住宅・建築物の耐震化)

いつ発生するかわからない大地震に対して、発生後すみやかに判定を実施できる体制を整備します。

施策目標：40

開発行為時の規制と秩序あるまちづくりを促進する（開発審査課）



施策の方向性

1 無秩序な市街化の抑制

無秩序な市街化を防ぎ、良好な都市環境の形成に資する土地利用を促進するため、宅地開発などにあって、一定の基準に沿った指導を行います。

2 開発・建築の許可制度などの適正な運用

都市計画法に基づく開発許可や建築許可、「茅ヶ崎市のまちづくりにおける手続き及び基準等に関する条例」など、各制度の適正な運用を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
開発許可事務及び特定開発事業確定事務の処理期間	28日 (平均値) (平成21年度)	25日	開発許可及び特定開発事業確定事務の処理日数を測ります。適正な審査を行うとともに、事務の迅速化を図り、平成25年度までに3日短縮することを目標としました。

主要な定例・定型的事業

各種申請手続に先行する窓口業務

(1 無秩序な市街化の抑制)

開発事業に関連する各種の相談に対し、適切に指導・誘導を行います。

まちづくり条例に係る指導及び特定開発事業の確認 (2 開発・建築の許可制度などの適正な運用)

秩序あるまちづくりの促進を図り、良好な都市環境を形成するため、まちづくり条例に係る指導を行います。

都市計画法第29条における開発許可

(2 開発・建築の許可制度などの適正な運用)

開発許可申請を受理し、許可申請に係る書類・図面などの内容が、許可基準に適合しているか否かを審査します。

市街化調整区域内における建築許可

(2 開発・建築の許可制度などの適正な運用)

開発許可申請を受理し、許可申請に係る書類・図面などの内容が、許可基準に適合しているか否かを審査します。

政策目標
11

だれもが快適に過ごせるまち

目指すべき将来像

道路情報管理システムが構築され、道水路敷が効率的に管理・利用されている
道路・橋りょうの整備により、渋滞の緩和効果があらわれている
生活道路の整備などにより、狭あい道路の多いエリアが縮小している
公園・緑地が市民の憩いや交流の場として、親しみを持って利用されている
公共建築物の耐震化が進み、安心して利用し、住み続けることができる

政策目標における3年間の目指すべき方向性

都市計画道路は、都市の機能を支える重要な都市施設ですが、近隣市に比べて整備率（55.1% 平成21年度）が低い状況であり、交通の円滑化や歩行者の安全性の向上のため、国・県が事業主体として2路線（1,620m）、市が事業主体として、2路線のうち東海岸寒川線（高田地区 340m）を整備し、整備率 58.2%を目指します。また、安全な生活環境を確保するため、歩道整備や狭あい道路の整備を進めます。

都市公園の市民1人当たりの面積は、2.37 m²/人と県内市平均 4.68 m²/人に比べて低い水準であり、新たな公園・緑地などの整備により、面積の向上を図ります。

老朽化した公共建築物の耐震化や橋りょうの耐震補強を促進して安全性を向上することにより、快適に過ごせるまちづくりを目指します。

一般会計	件数	概算事業費
政策的事業	23	3,057 百万円
定例・定型的事業	66	2,846 百万円
人件費		1,714 百万円

一般会計概算事業費合計	7,617 百万円
-------------	-----------

施策目標：4 1

道水路敷の効率的な管理・利用を進める（建設総務課）



施策の方向性

1 法令に基づく市道の管理

法令に基づき、市道を管理するため、市道の認定と廃止、区域の決定や供用の開始などを行います。

2 道水路敷の有効利用

行政財産である道水路敷の有効利用を図るため、積極的に用途廃止、交換、払い下げ業務を行います。あわせて、道路敷の寄付採納と道水路敷の付け替えを行います。

3 道水路敷の境界確定や電子データ化による管理

道水路敷を管理するため、境界確定業務を推進するとともに、境界確定図交付事務の簡素化と迅速化を図るため、電子データ化による道路情報管理システムの運用を推進します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
道水路敷の境界確定や電子データ化による管理	認定道路延長（655.642 km）（平成21年度） その他認定外道路及び水路延長が確定できていない。 （0%）	公図ベースにおいて、現在認定外の道路・水路の総延長が、確定できている。 （100%）	市内全域の道路は、認定道路（655.642 km）と認定外道路が存在していますが、未確定箇所もあるため、道路としての総延長は不明となっています。 道路情報管理システムを活用することにより、市内道路の総延長について、公図ベースで毎年33.3%確定することを目標としました。

主要な定例・定型的事業

道路の認定及び廃止

(1 法令に基づく市道の管理)

新設道路、開発行為により整備された帰属道路及び寄付による道路を認定し、主に一般交通の用に供する必要がなくなった道路の廃止手続きを行います。

道路の区域変更及び供用開始

(1 法令に基づく市道の管理)

既存道路の拡幅整備（歩道設置、狭あい道路整備）などによる区域の変更及び供用開始（新設道路を含む）の告示を行います。

道路台帳の補正

(1 法令に基づく市道の管理)

道路の詳細な情報を整備し、必要な情報を市民や事業者などへ提供するため、前年度に実施された道路認定、廃止、区域変更等に基づき台帳の補正を行います。

建設部門間の全般業務の調整

(1 法令に基づく市道の管理)

庁内関係課、茅ヶ崎警察署、道路占用者（水道、ガスなど）において、年2回工事箇所及び工事期間などの調整会議を開催し、事業の円滑化を図り、市民生活への影響を軽減します。

道水路の境界確定及び境界確定図の交付 (3 道路水路敷の境界確定や電子データ化による管理)

道水路等の財産管理のため、境界確定・復元測量・境界確定図の交付を行います。

施策目標：4-2

交通を円滑に処理する道路網を整備する（道路建設課）



施策の方向性

1 幹線道路・環状道路の整備

都市機能を支える都市計画道路を主とした幹線道路、環状道路の整備により通過交通車両を抑制し、地域間の移動の利便性の向上と歩行空間・自転車走行空間の確保に努め、交通の円滑化により、安全な道づくりを進めます。また、災害時における緊急活動の円滑化や避難路の確保、景観や環境に配慮した道路づくりを進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
都市計画道路の整備率	55.1% (平成21年度)	58.2%	都市計画道路27路線のうち、現在整備中の主要幹線を整備し、安全で円滑に移動ができる骨格的な道路網の整備進捗率を測ります。 国・県が事業主体として2路線延長1,620m、市が事業主体として2路線のうち、東海岸寒川線(高田地区延長340m)を整備し、整備率が3.1%上昇することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
香川甘沼線道路改良事業		香川甘沼線は、JR香川駅から香川小学校北側を連絡する東西の幹線市道であり、「香川駅周辺地区まちづくり整備計画」との連携を図るとともに、利用者の安全性の向上を目指すものです。 このうち、特に狭あいな区間である香川一丁目18番先から東側の180m区間について、用地買収を継続し、平成25年度を目標に道路改良工事を行います。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：用地買収				指標 事業の進捗状況 用地買収率 工事延長	
施策の方向性						目標	
1 幹線道路・環状道路の整備						平成23年度 用地買収面積 92%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 用地買収面積 100%	
事業主体	市	平成23～25事業費	245,232 千円			平成25年度 工事完了 L=180m W12	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 ■ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道0109号線（鶴嶺通り）歩道設置事業		市道0109号線は、新鶴嶺橋から産業道路区間延長約900mについて、既存歩道幅員1.0mを2.5mに拡幅し、歩道の段差解消等により、安全性の向上を図ります。 平成23、24年度で整備実施に向けた設計業務を行い、25年度から用地購入・補償などに着手します。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：基本計画の策定				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 設計業務完了	
1 幹線道路・環状道路の整備						平成24年度 用地測量完了	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 用地買収面積 112㎡	
事業主体	市	平成23～25事業費	32,400 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	■ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道0110号線（大岡越前通り）設置事業		市道0110号線は、歩車道の分離がされていない道路であり、歩行者等の通行に危険が生じている状況から、両側2mの歩道を整備し、安全性の確保を図る事業です。 堤3786番地（浄見寺入口付近）から東側へ約660m区間の歩道を整備します。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：用地買収・歩道整備工事				指標 事業の進捗状況 用地買収 歩道整備工事	
						目標 平成23年度 用地買収64㎡ 整備工事L=20m 平成24年度 整備工事L=60m	
施策の方向性						平成25年度 用地買収53㎡ 整備工事L=43m	
1 幹線道路・環状道路の整備							
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	71,597 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 ■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
寺尾橋橋りょう整備事業		神奈川県事業である小出川河川改修計画に伴い、県、寒川町及び茅ヶ崎市の共同事業として、平成25年度完了を目標に、橋りょう及び取り付け道路を整備し、交通の利便性と歩行者の安全性を確保し、円滑な通行を確保するものです。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：関係機関協議				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標 平成23年度 下部工 2基
1 幹線道路・環状道路の整備						平成24年度 上部架設工L=44m 取付道路工L=40m
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 取付道路工L=26m
事業主体	市	平成23～25事業費	591,030 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 ■ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
新国道線街路整備事業		新国道線は、都市計画道路東海岸寒川線から主要地方道丸子・中山・茅ヶ崎線間の延長922m、幅員18.1～28.5mが事業認可された都市計画道路です。一里塚北通りから東海岸寒川線区間について、平成23年度末に歩行者、自転車が行き来できるよう、歩道などの整備を行います。24年度は、未整備区間のうち、千ノ川河川整備事業と関連する箇所の建物補償を行います。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：用地買収				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
1 幹線道路・環状道路の整備						平成23年度 工事延長L=405m w=4～20m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 建物補償1箇所	
事業主体	市	平成23～25事業費	215,790 千円			平成25年度 事業区間の調査・研究	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	■ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
東海岸寒川線街路整備事業		東海岸寒川線は、国道134号から市域中央部を通り、寒川町へと接続する骨格的な道路網の柱軸となる南北の幹線道路です。 平成23年度は、高田五丁目地内から円蔵一丁目地内の340m及び前後の暫定区間を含む街路整備工事総延長590m、幅員16mについて、平成23年度完了を目標としました。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：用地買収				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 整備工事L=590m	
1 幹線道路・環状道路の整備						平成24年度 事業区間の調査・研究	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 事業区間の調査・研究	
事業主体	市	平成23～25事業費	179,000 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 ■ 松林	□ 南湖 ■ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	■ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

主要な定例・定型的事業

街路・道路用地維持管理事業

(1 幹線道路・環状道路の整備)

都市計画道路などの事業用地として購入した用地などの維持管理を行う事業です。

また、用地買収に伴う境界復元等の測量業務や登記図面の作成を行います。

国・県補助金交付申請書等の作成

(1 幹線道路・環状道路の整備)

事業の実施にあたり国・県の交付金などを活用するため、必要な申請手続きを行います。

国・県からの道路事業費等の調査事務

(1 幹線道路・環状道路の整備)

道路事業・街路事業に係る国・県からの調査依頼等に対して、事業実績などの報告を行います。

施策目標：4.3

身近な生活道路を安全で快適にする（道路管理課）



施策の方向性

1 生活道路の整備

安全で快適な生活環境を確保するため、狭あい道路などの整備や舗装修繕を積極的に行い、生活道路の整備を推進します。

2 道路排水施設などの整備

集中豪雨対策として、道路冠水発生箇所については、状況に応じた道路排水施設の整備を行います。また、迅速な交通誘導と通行の制限により、道路の安全な通行の確保を推進します。

3 だれもが利用しやすい道路空間の確保

道路の無電柱化やバリアフリー化を推進することにより、だれもが利用しやすい道路空間を確保し、交通事故の減少を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
狭あい道路の整備延長率	17.2% (平成21年度)	18.7%	生活道路が安全で快適な生活環境を確保するため、建築確認や自主後退後の道路用地を取得して整備を行います。現在の申請件数である300件が毎年継続すると想定して、整備することを目標としました。 狭あい道路整備事業：昭和61年度から「狭あい道路整備事業」として、狭あいな道路に接する敷地において、家屋の建築等を行う場合、また、自主的に後退する場合に、土地所有者からの申請に基づき実施している事業です。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
幹線道路維持保全計画		既に整備されている道路を適切に維持・保全していくため、幹線道路の舗装や照明灯、ガードレールといった道路付属物・安全施設等に関する維持・保全計画を策定するものです。 平成23年度は、基礎データの収集や方向性の検討を行い、平成24年度に、計画を策定するため専門的な解析業務を行います。 ※計画の策定（平成22年度）：計画策定準備				指標 計画の策定	
施策の方向性						目標	
1 生活道路の整備						平成23年度 基礎データの収集 基本計画の整理	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	平成24年度 全体計画の策定 舗装構成の検討		
事業主体	市	平成23～25事業費	7,000 千円			平成25年度 —	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
橋りょう耐震補強整備事業		阪神淡路大震災以降の構造指針改正に伴い、旧指針に基づき築造された14橋りょうについて、平成27年度末を目標に耐震補強工事を行います。 また、橋りょうの効率的な維持管理のため、長寿命化修繕計画を平成24年度までに策定します。 ※橋りょう数（平成22年度）：3橋				指標 橋りょう数（全14橋）	
施策の方向性						目標 平成23年度 2橋	
1 生活道路の整備						平成24年度 1橋	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 1橋	
事業主体	市	平成23～25事業費	195,450 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
狭あい道路整備事業		生活道路の安全性の向上を図るため、建築確認申請などに基づき発生する道路の後退用地の測量、分筆、所有権移転、整備及び工作物の補償を行います。 ※事業件数（平成21年度）：316件 整備延長率（平成21年度）：17.2%				指標	
施策の方向性						事業件数 整備延長率	
1 生活道路の整備						目標	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成23年度 300件 18.0%	
事業主体	市	平成23～25事業費	780,340 千円			平成24年度 300件 18.4%	
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				平成25年度 300件 18.7%	
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
鳥井戸地下道冠水対策事業		鳥井戸地下道の冠水被害を軽減するため、雨水調整池・雨水排水施設工事を行います。 平成23年度末を目標に、機械、電気及び施設整備工事を完了し、供用開始をします。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：土木・建築工事の完了				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 電気・機械・施設整備工事の完成	
2 道路排水施設などの整備						平成24年度 －	
継続		事業実施年度	23年度			平成25年度 －	
事業主体	市	平成23～25事業費	107,000 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☒ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
茅ヶ崎駅北口周辺道路整備事業		国や神奈川県は、無電柱化に対する時代の要請や課題への対応を図るため、「無電柱化推進計画」を策定しています。 都市景観の形成や防災機能の向上、バリアフリー化等の観点から茅ヶ崎駅北口周辺地区を事業区域とし、23年度までに市道2244号線を完了し、24年度より市道2241号線の無電柱化工事を行います。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：市道2244号線の完了				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
3 だれもが利用しやすい道路空間の確保						平成23年度 家屋事後調査18箇所、補償3か所 平成24年度 無電柱化工事	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 道路整備工事	
事業主体	市	平成23～25事業費	55,710 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	■ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道0107号線（桜道）整備事業		歩行者、学童などの安全性の向上を図るため、幸町交差点から東側区間延長620mの歩道・車道の段差を解消するため、バリアフリー化工事を行います。 ※計画の策定（平成22年度）：詳細設計完了				指標 工事延長	
施策の方向性						目標 平成23年度 工事L＝207m	
3 だれもが利用しやすい道路空間の確保						平成24年度 工事L＝207m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 工事L＝206m	
事業主体	市	平成23～25事業費	92,000 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	■ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道0210号線（梅田通り）整備事業		歩行者、学童などの安全性の向上を図るため、梅田小、中学校前及び茅ヶ崎保健福祉事務所前の交差点付近の歩道設置工事を行います。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：用地測量完了				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 —	
3 だれもが利用しやすい道路空間の確保						平成24年度 用地買収 29㎡ 補償1か所	
継続		事業実施年度		24年度	25年度	平成25年度 歩道工事 34m	
事業主体	市	平成23～25事業費	20,400 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	■ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	■ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
市道5634号線（鶴嶺八幡宮参道）整備事業		鶴嶺参道は、国道1号から矢畑萩園線を連絡する南北の主要な道路で、延長740m、幅員9～10mについて、既存の松並木の保全及び景観に配慮し、両側歩道の道路整備を行うものです。 平成24年度末を目標に鶴嶺参道中央付近から国道1号間の歩道・車道の整備工事を行います。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：工事延長360m				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
3 だれもが利用しやすい道路空間の確保						平成23年度 道路整備工事 L=160m 平成24年度 道路及び植栽整備工事 L=220m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度		平成25年度 —	
事業主体	市	平成23～25事業費	101,400 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	■ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

主要な定例・定型的事業

道路安全施設設置事業 (1 生活道路の整備)

歩行者や車両の安全性を確保するため、道路照明灯・道路反射鏡・路面標示などの整備を図ります。

道路舗装修繕事業 (1 生活道路の整備)

舗装の老朽化などによる路面損傷箇所の修繕工事を行い、交通の安全性の確保を図ります。

道路整備事業 (1 生活道路の整備)

歩行者や車両の安全性を確保するため、道路舗装工事、土留めなど付帯工事などの整備を図ります。

駅周辺及び道路施設等の維持管理事業 (1 生活道路の整備)

茅ヶ崎駅周辺、国道1号地下道の施設について維持管理、監視を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図ります。

道路の占用、掘削等の許可に関する事業 (1 生活道路の整備)

道路内に埋設されている水道管、ガス管の交換や新設工事に伴う道路の使用について、申請・許可業務を実施、「道路損傷復旧負担金」の徴収を行います。

施策目標：4-4

公園・緑地を整備する（公園緑地課）



施策の方向

1 レクリエーション拠点の整備

海岸や里山などの豊かな自然・景観を生かしたレクリエーション拠点となる公園・緑地を整備します。

2 既存の公園・緑地の再生整備

身近な公園・緑地の整備に加えて、既存の公園を対象として、地域住民のニーズに対応した再生整備を推進します。

3 協働による既存公園・緑地の管理運営

既存の公園・緑地に関しては、地域住民が愛着を持ち、親しみのあるみどりを増やしていくために協働による管理運営を目指します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
市民1人当たりの都市公園面積	2.37 m ² /人 (平成21年度)	2.72 m ² /人	安全・安心で快適な暮らしを支える公園・緑地の整備が効果的に実施できているかを測ります。 平成21年度に策定した「みどりの基本計画」に基づき、整備を予定している公園・緑地や提供公園など、0.37% (8.9ha) 増加することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
住区基幹公園等整備事業		緑の保全とともに市民生活に安らぎや憩いの場を提供し、地域の交流や防災活動などの拠点となる、借地を含めた公園、緑地等の整備について検討を行います。 ※公園、緑地整備の検討（平成22年度）：1か所				指標 公園、緑地整備の検討	
施策の方向性						目標	
1 レクリエーション拠点の整備						平成23年度 地元、関係機関との調整	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 地元、関係機関との調整	
事業主体	市、民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 地元、関係機関との調整	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標
柳島青少年キャンプ場の移管		神奈川県と協議を進め、県立柳島青少年キャンプ場の本市への移管に向け作業を進めます。				指標 キャンプ場施設の移管
施策の方向性						目標 平成23年度 移管に伴う手続
1 レクリエーション拠点の整備						平成24年度 —
新規		事業実施年度	23年度			平成25年度 —
事業主体	市	平成23～25事業費	— 千円			
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☒ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
既存公園等改修整備事業		安心して利用できる公園、緑地（樹苗園を含む）を目指して、市内に162か所ある公園施設全般の改修及び更新を行います。また、平成20年度に実施した遊具の点検に基づき、交換が必要とされた、遊具の更新などを行います。 ※交換予定遊具の改修率（平成22年度）：46.0% 全体55基 (25基)				指標 交換予定遊具の改修率	
施策の方向性						目標 平成23年度 55.0% (30基)	
2 既存の公園・緑地の再生整備						平成24年度 60.0% (33基)	
継続		事業実施年度		24年度	25年度	平成25年度 66.0% (36基)	
事業主体	市	平成23～25事業費	14,000 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
市営水泳プール施設改修事業		市営浜須賀水泳プールは、昭和40年に開設されており、市民の憩いの場となっています。施設の老朽化が進行しているため、「公共施設整備・再編計画（改訂版）」においても、施設の改修が必要とされているため、管理棟の建て替え及びプール設備の計画的な改修工事を行うものです。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：関係機関調整				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 関係機関との調整	
2 既存の公園・緑地の再生整備						平成24年度 測量、設計業務	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 管理棟及びプールの改修工事	
事業主体	市	平成23～25事業費	198,200 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 ■ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
市民の森再整備事業		市民の森は、誰もが気軽に自然にふれあえる場として市民との合意形成を図りつつ、都市公園としての整備に取り組んでいきます。 平成24年度に老朽化した施設（管理棟、園路など）の改修整備を行います。また、市民ワーキンググループとの協働作業により、森の管理や手作りによる整備などを継続して行います。 ※管理棟、園路の整備（平成21年度）：ワーキングでの検討				指標 管理棟・園路の整備	
施策の方向性						目標 平成23年度 整備内容の検討	
2 既存の公園・緑地の再生整備						平成24年度 管理棟、園路の整備	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 協働による園路整備	
事業主体	市、市民	平成23～25事業費	5,500 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 ■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
みどりの里親制度普及促進事業 （協働推進事業・行政提案型）		みどりの里親ボランティアとしての有益な知識の習得及び新規登録者の拡大を図るため、協働事業として園芸や植栽管理に関する講座を開き、ボランティア育成のための機会を設けます。				指標 受講者数	
施策の方向性						目標 平成23年度 120名	
3 協働による既存公園・緑地の管理運営						平成24年度 —	
継続拡充		事業実施年度	23年度			平成25年度 —	
事業主体	市・市民	平成23～25事業費	452 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

主要な定例・定型的事業

公園・緑地等管理運営事業

(2 既存の公園・緑地の再生整備)

都市公園 162 か所などについて、施設の清掃、機械設備の保守・点検、管理業務委託等を行い、安全面の向上を図ります。

市営水泳プール管理運営事業

(2 既存の公園・緑地の再生整備)

屋外型の市営水泳プール 2 箇所（浜須賀及び殿山）について、毎年 7 月 1 日から 8 月 31 日まで開場し、管理運営を業者委託により実施しています。

茶室・書院管理運営事業

(2 既存の公園・緑地の再生整備)

高砂緑地と一体とした施設として、市民の文化教養の向上のため、茶道等を通じた日本文化を承継する施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図ります。

氷室椿庭園管理運営事業

(2 既存の公園・緑地の再生整備)

個人庭園の寄贈を受け、椿の特殊公園として一般に開放し、潤いのある憩いの場としての活用を図るとともに、利用者の増加を図ります。

みどりの里親制度

(3 協働による既存公園・緑地の管理運営)

公園や緑地などにおいて、地域住民が愛着を持ち、親しみあるみどりを増やしていくため、みどりの里親登録者と活動箇所の増加を図るものです。

施策目標：4.5

安全で環境に配慮しただれにもやさしい公共建築物をつくる（建築課）



施策の方向性

1 公共建築物の整備

安全で環境に配慮した快適なだれにもやさしい施設づくりを進めます。

2 既存住宅ストックの有効活用

市営住宅は、半数以上が築後 30 年以上を経過しており老朽化が顕著になっていることから、的確な整備・保全を行い、既存住宅ストックの有効活用を図ります。

3 住宅セーフティネットの機能向上

多様化する住宅困窮者を支援するため、市営住宅における暮らしやすい環境などの整備を進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
公共建築物の耐震改修工事等の未実施棟数	5 棟 (平成21年度)	5 棟	昭和56年以前の旧耐震基準で建設された耐震性の不足した10棟の公共建築物（教育施設以外）について、平成17年度までに5施設の耐震改修工事を行いました。 残り5施設について、耐震改修促進計画に基づき計画的に改修工事等を実施することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
市営住宅の維持管理		市営住宅ストックを良質なストックとして将来世代に継承していくため、「茅ヶ崎市営住宅等長寿命化計画」に基づき、外壁改修や屋上防水工事などの計画修繕を効果的・効率的に行うほか、浴槽や給湯設備の設置などの改善事業を実施し、住宅セーフティネットとしての居住性や安全性の確保を図ります。 ※給湯設備整備戸数（平成21年度）：0戸				指標 給湯設備整備戸数
施策の方向性						
1 公共建築物の整備						
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	目標 平成23年度 10戸 平成24年度 5戸
事業主体	市	平成23～25事業費	72,000 千円			平成25年度 5戸
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 ■ 鶴嶺西 □ 湘南 ■ 松林 ■ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
市営住宅の整備（市営住宅建替）		小和田三丁目に予定されている市営住宅複合施設内における児童クラブの整備については、「公共施設整備・再編計画（改訂版）」に基づき、平成26年度以降の実施計画や施設整備に向け、庁内調整及び関係機関との協議を進めます。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 関係機関協議	
1 公共建築物の整備						平成24年度 関係機関協議	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 関係機関協議	
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			関係機関協議	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 協働 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	全市	茅ヶ崎 松林	南湖 湘北	■ 海岸 小和田	鶴嶺東 松浪	鶴嶺西 浜須賀	湘南 小出

事業名		事業概要				指標・目標
市営住宅の整備（借上型市営住宅）		公的賃貸住宅のひとつとして、住宅に困窮するファミリー世帯や高齢者世帯に対し、良質な賃貸住宅を供給するため、民間の土地所有者により建設した、整備基準にあった住宅を借り上げ、低所得階層への供給を目指します。住宅の供給にあたっては、市民ニーズのほか、地域や世帯のバランスなども考慮します。 ※借上型市営住宅整備戸数（平成21年度）：52戸				指標 借上型市営住宅整備戸数
施策の方向性						目標 平成23年度 —
1 公共建築物の整備						平成24年度 20戸
継続		事業実施年度		24年度	25年度	平成25年度 20戸
事業主体	市	平成23～25事業費	72,000 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

主要な定例・定型的事業

建設・修繕工事の監理・監督

(1 公共建築物の整備)

市発注工事について、工事期間中の品質、安全及び工程の管理を的確に行います。

市営住宅の補修事業

(2 既存住宅ストックの有効活用)

市営住宅の建物、設備等について、法定点検、定期点検の結果を活用し、適切な現状把握を行うとともに、予防保全型の維持管理を行います。

借上型市営住宅の整備事業

(3 住宅セーフティネットの機能向上)

「茅ヶ崎市借上型市営住宅制度」は、民間の土地所有者の方々に国や市の定めた基準にあった賃貸住宅を建設していただき、市が20年間一括して借り上げ、市営住宅として供給を行います。

市営住宅の管理事業

(3 住宅セーフティネットの機能向上)

市営住宅における適正な入居者及び施設の管理を行い、安全・安心な住まいの供給を行います。

政策目標
12

快適な水環境が守られるまち

目指すべき将来像

下水道経営方針に基づき、経営の健全化、安定化が図られている
水洗化により多くの世帯が快適な生活を営んでいる
下水道の整備と水洗化普及率の向上により、川の水質が良好に保たれている
雨水対策が充実し、浸水被害が減少している
川辺の自然と人がふれあえる水辺空間が整備され、多くの市民に親しまれている
下水道の長寿命化が進められている

政策目標における3年間の目指すべき方向性

昭和 38 年度より着手した公共下水道の汚水施設は、順調に整備率を延ばしています。平成 21 年度末の整備率は、96.3%と県内の平均より高く、公衆衛生、生活環境の向上が図られ、河川の水質が改善されるなどの効果が得られています。今後も河川の水質保全に努めます。

雨水施設は、面整備率が 46.9%と低いことや、河川整備が遅れていることから、近年浸水被害が数多く発生し、その軽減を図るため、雨水施設や河川の整備を進めます。また、河川の整備に当たっては、周辺の空間との調和を図り、市民に親しまれること河川整備を目指します。

一般会計	件 数	概算事業費
政策的事業	5	6,814 百万円
定例・定型的事業	11	468 百万円
人件費		277 百万円

特別会計	事業件数	概算事業費
下水道事業特別会計	33	21,826 百万円

一般会計・特別会計概算事業費合計	29,385 百万円
------------------	------------

施策目標：46

下水道経営を健全に安定して行う（下水道河川総務課）



施策の方向性

1 下水道経営の健全化・安定化

平成 24 年 4 月からの地方公営企業法適用に伴い、下水道経営の方針を樹立し、経営の健全化、安定化を図ります。

2 水洗化普及率の向上

公共下水道供用開始告示区域内の水洗化普及率 100%を達成するための指導・啓発に努めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成 25 年度の目標値	指標の説明・意図
公共下水道使用料徴収率	97.78% (平成 21 年度)	98.58%	下水道事業会計の自主財源である下水道使用料が適切に徴収できているかを測ります。 水道局との同時徴収により、毎年 0.2%の徴収率の増加を目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
地方公営企業法適用 移行業務		下水道事業の経営状況に評価を与えるための判断材料を市民に提供するとともに、下水道事業経営者としての説明責任を確立するため、地方公営企業法を下水道事業に適用します。 平成23年度は、地方公営企業法適用に係わる移行業務全般を行い、平成24年4月1日の適用を目指します。 ※移行業務全般（平成22年度）：資産台帳の作成完了				指標 移行業務全般	
施策の方向性						目標 平成23年度 移行業務の完了	
1 下水道経営の健全化・安定化						平成24年度 －	
継続拡充		事業実施年度	23年度			平成25年度 －	
事業主体	市	平成23～25事業費	47,600 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

公共下水道事業受益者負担金賦課徴収事務

(1 下水道経営の健全化・安定化)

下水道事業の受益者に負担金の説明会や個別説明会を行うとともに、受益者負担金の賦課及び徴収事務を的確に行います。

下水道使用料賦課徴収事務

(1 下水道経営の健全化・安定化)

公共下水道使用料の料金水準及び料金体系の適正化を図るとともに、使用料滞納額の減少を図ります。

相模川流域下水道維持管理事務

(1 下水道経営の健全化・安定化)

下水道処理区域内の下水は、相模川流域下水道に接続され処理されています。これらの施設利用に対して、維持管理費用などの一部を相模川流域下水道維持管理負担金として支出しています。

藤沢市公共下水道維持管理事務

(1 下水道経営の健全化・安定化)

茅ヶ崎市堤地内土地区画整理事業の区域は、藤沢市の公共下水道を利用しています。このため、使用量に応じた施設の維持管理負担金を支出しています。

施策目標：47

公共下水道（雨水・汚水）・河川を整備する（下水道河川建設課）

□ 施策の方向性

1 計画的な公共下水道施設の整備

公共下水道は、生活環境の改善をするとともに、河川や海などの公共用水域の水質を保全し、健全な水環境を守るという役割を担う重要な都市基盤であることを認識し、快適環境都市づくりに向けて計画的に公共下水道施設の整備を推進します。

2 雨水対策

雨水対策は、下水道事業の重要な役割のひとつであり、その対策に当たっては緊急度を考慮し、雨水排除能力の確保に加えて、面的な対策である貯留・浸透などの流出抑制対策も含めた方策を検討し、浸水の少ない安全なまちづくりを目指します。

3 河川整備

河川整備は、治水を基本としながら、条件の整った区域では、親しみやすい水辺空間を創造することで、川辺の自然とふれあいを通じた心豊かな暮らしの実現に向けた整備を、計画的に推進します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
公共下水道（汚水）整備率	96.3% （平成21年度）	98.4%	平成20年度策定の「茅ヶ崎市下水道整備方針」に基づき、市街化区域内の面整備率について、平成28年度100%を目指して設定し、年0.53%増加することを目指しました。
公共下水道（雨水）整備率	46.9% （平成21年度）	47.9%	平成20年度策定の「茅ヶ崎市下水道整備方針」に基づき、平成41年度56.0%を目指して設定し、浸水被害軽減のため、雨水の雨水整備率を毎年0.26%増加することを目指しました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
公共下水道整備事業 (汚水整備)		市街化区域内の未整備区域の面整備率の向上を目指し、公共下水道の普及により、公共水域の水質保全及び生活環境の保全を図るため、汚水管渠の整備を行います。 ※公共下水道（汚水）整備率（平成21年度）：96.3%				指標 公共下水道(汚水)整備率
施策の方向性						目標 平成23年度 97.3%
1 計画的な公共下水道施設の整備						平成24年度 97.8%
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 98.3%
事業主体	市	平成23～25事業費	734,871 千円			
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心				
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
合流式下水道緊急改善事業(第二工区)事業		雨天時に雨水と共に排出される汚水を道路下の管路に一時貯留して、公共用水域の水質の保全を行うものです。 本工事は第一工区工事に引き続き平成22年度より3か年で、松が丘排水区及び浜須賀排水区の合流区域の水質改善を図る地下貯留施設（内径φ2,600mm L＝約1,500m）を設置するものです。 ※汚濁負荷の削減量（平成21年度）：0%				指標 汚濁負荷の削減量	
施策の方向性						目標 平成23年度 72.0%	
1 計画的な公共下水道施設の整備						平成24年度 100.0%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	平成25年度 —		
事業主体	市	平成23～25事業費	2,312,640 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☒ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☒ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
地震対策の推進		今後、予想される東海地震の被害時において、流下機能を確保できるよう管渠・マンホールの耐震化を行います。 ※耐震化整備延長（平成21年度）：53m				指標 耐震化整備延長	
施策の方向性						目標 平成23年度 100m	
1 計画的な公共下水道施設の整備						平成24年度 100m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	292,000 千円			平成25年度 79m 設計委託の完了	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標
公共下水道整備事業 (雨水整備)		近年の集中豪雨などによる浸水被害に対して、浜竹、萩園及び千ノ川雨水幹線の整備や古相模橋、新千ノ川橋左岸ポンプ施設の整備を行い、雨水浸水被害の軽減を図るものです。 ※（雨水）整備率（平成21年度）：46.9% （雨水幹線）整備率（平成21年度）：88.9%				指標
施策の方向性						公共下水道(雨水)整備率
2 雨水対策						公共下水道(雨水幹線)目標
			平成23年度	47.4%	90.7%	
			平成24年度	47.7%	91.6%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度
事業主体	市	平成23～25事業費	5,083,010 千円			47.9%
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				92.5%
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
千ノ川整備事業		千ノ川流域の浸水被害対策として、準用河川千ノ川未改修区間である、梅田橋上流からJR相模線下流間延長900mについて、将来河川幅での護岸工事を行います。 平成23年度は、共同調理場付近の護岸工事を60m施工。平成24から26年度で、用地交渉を行います。 ※河川整備の進捗率（平成21年度）：47.6%				指標 河川整備の進捗率	
施策の方向性						目標	
3 河川整備						平成23年度 50.6%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 50.6%	
事業主体	市	平成23～25事業費	440,300 千円			平成25年度 24～26年度用地取得	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☒ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☒ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

主要な定例・定型的事業

合併浄化槽設置整備事業

（1 計画的な公共下水道施設の整備）

生活排水による公共用水域の水質汚濁及び生活環境の悪化を防止するため、補助交付制度を活用し、市街化調整区域内の合併処理浄化槽の設置を推進します。

雨水貯留タンク設置奨励事業

（2 雨水対策）

近年の集中豪雨などによる浸水被害に対して、雨水の貯留・浸透などの流出抑制対策を行うため、平成21年度より、雨水貯留タンク設置に対する補助金を交付しています。

遊水機能土地保全事業

（2 雨水対策）

平成5年度より、遊水機能を保有する市街化区域内の土地の保全を図るため、補助金を交付しています。平成21年度から、対象区域を市街化調整区域に拡大し、浸水被害の軽減や水田などの保全を図っています。

施策目標：48

下水道・河川施設の信頼性を確保する（下水道河川管理課）



施策の方向

1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築

緊急輸送路に埋設されている管路や避難所からの排水を受ける管路の耐震化に着手するとともに、下水道維持管理計画を策定し計画的・効率的な改築事業に着手します。

2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理

河川・水路の改修や計画的な維持・管理を行い、市内の浸水箇所を無くし、安全で快適な生活を確保します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
河川の水質測定値（BOD）が3 mg/L 以下の箇所数	2 か所 （平成21年度）	2 か所	市内河川の水質の汚濁具合を9か所で測定し、清浄な水質の確保ができているかを測ります。 平成17年度～21年度の平均値は、6.3 mg/L ですが、公共下水道の普及などにより、21年度は4.0 mg/L に改善されています。 平成22年度から、相模川の基準水質（BOD）が、5 mg/L から3 mg/L 以下に、厳しくなったことを受け、市河川についても9か所ある測定箇所のうち、現在と同じ2か所での測定値を現状維持することを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
下水道施設情報システム構築事業		現在、中央局である今宿ポンプ場と連携の取れていない雨水ポンプ施設及び雨水吐きの機器の動作状況を常時監視するシステムを構築し、大雨などに対して迅速な対応を図るものです。 実施計画期間中に5局の連携システムの構築を目指すものです。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：1局				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標
1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築						平成23年度 1局
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 2局
事業主体	市	平成23～25事業費	50,000 千円			平成25年度 2局
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				
地域	☐ 全市 ☒ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☒ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☒ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
下水道長寿命化計画策定		下水道施設の老朽化による事故や機能停止を未然に防ぐため、予防保全的な管理及び管更正工法、または、部分取り替えなどにより既存施設を活用し、耐用年数の延伸やライフサイクルコストの縮減を図るための計画を策定します。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：基本計画の策定				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 計画策定完了	
1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築						平成24年度 同意取得	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 実施設計完了	
事業主体	市	平成23～25事業費	35,000 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	■ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標
不明水調査及び管更生事業		下水道管渠への不明水の侵入対策については、下水道管渠の流下能力を確保する上で必須であり、不明水調査を行い、不具合箇所の管更生工事を実施することにより、流下能力の確保を行うものです。 また、管渠の破損に起因した道路内などにおける不測の陥没事故を防止するものです。 ※不明水調査調査延長（平成22年度）：3,500m 管更生延長：（平成22年度）：1,850m				指標 不明水調査延長 管更生延長
施策の方向性						目標
1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築						平成23年度 4,000m 4,100m
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 4,000m 4,100m
事業主体	市	平成23～25事業費	300,000 千円			平成25年度 4,000m 4,100m
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀 □ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標		
柳島ポンプ場改築事業		柳島ポンプ場は、施設の稼働後37年を経過し、機器などの老朽化が進み、耐震性が不足しているものです。このため、平成25年度から、基本設計業務に着手し、降雨時及び災害時における機能確保のため、今後の維持管理も含めた総合的な費用を考慮した上で、施設の改築を行います。				指標 事業の進捗状況		
施策の方向性						目標 平成23年度 —		
1 管路の耐震化と計画的・効率的な改築						平成24年度 —		
新規		事業実施年度				25年度		
事業主体		市		平成23～25事業費		20,000 千円		
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					平成25年度 基本設計委託完了	
地域		□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 ■ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
駒寄川整備事業		駒寄川整備事業は、大雨時における浸水被害の軽減を図るため、県相模川左岸農業用水から上流部へ約1,000mの区間について、現況断面の拡幅整備（暫定計画断面）を行います。 ※整備延長（平成22年度）：67m				指標 整備延長	
						目標 平成23年度 50m	
施策の方向性						平成24年度 95m	
2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理						平成25年度 80m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	145,470 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 ■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
駒寄川整備事業（文化資料館建設関連事業）		浄見寺付近の駒寄川整備事業は、将来的に予定されている文化資料館の移転計画に合わせて、周辺の環境などに配慮した多自然護岸による現況断面の拡幅（暫定計画断面）整備の検討を、平成25年度を目標に着手するものです。 ※事業の進捗状況（平成22年度）：全体計画の検討				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 庁内調整 関係機関調整	
2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理						平成24年度 庁内調整 関係機関調整	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 調査・基本計画の策定	
事業主体	市	平成23～25事業費	5,000 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
排水路新設事業（排水不良地区の解消）		公共下水道の未整備地区や排水不良地区において、浸水被害の軽減と環境浄化を図るため、排水路の新設、改良を行います。 ※整備延長（平成22年度）：305m				指標 整備延長	
施策の方向性						目標 平成23年度 77m	
2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理						平成24年度 100m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 100m	
事業主体	市	平成23～25事業費	40,200 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

主要な定例・定型的事業

管路施設及び雨水吐きの維持補修に係る事務 (2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理)

雨天時における浸水被害の軽減を図るため、管路施設・放流渠に浚渫、除草など適切な維持管理を行います。

ポンプ場の維持管理に係る事務 (2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理)

雨天時における浸水被害の軽減を図るため、ポンプ施設などの適切な維持管理を行います。

水路の維持管理に係る事務 (2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理)

平常時における悪臭や害虫の発生防止、大雨時における浸水被害の軽減を図るため、排水路の浚渫、除草など適切な維持管理を行います。

河川の維持管理に係る事務 (2 河川・水路の改修と計画的な維持・管理)

平常時における悪臭や害虫の発生防止、大雨時における浸水被害の軽減を図るため、河川(千ノ川・駒寄川)の浚渫、除草など適切な維持管理を行います。

政策目標
13

地域の魅力と活力のある産業のまち

目指すべき将来像

地場産品のブランド化が進み、茅ヶ崎の魅力の発信により、まちが活性化している
商業や農業・水産業の後継者が増加している
既存企業の操業環境が充実され、新たな企業立地や雇用が創出されている
観光のネットワークが形成されている
市民生活の利便性の高い都市拠点整備され、活力あるまちとなっている

政策目標における3年間の目指すべき方向性

茅ヶ崎市の産業は、農業、漁業、商業、工業のそれぞれにおいて、高齢化が進み、後継者不足などにより、従事者数、従業員数や事業者数が減少傾向にあります。

茅ヶ崎市の高い知名度や地域資源、企業の先端技術などを生かしながら、各産業の連携を促進し、生産性の向上やブランド価値の創造などの環境づくりを進め、多くの人々が訪れる魅力と活力を育てるとともに、市内での雇用創出や次世代の定住を図ります。

市内における従業員数や事業所数の増加を図り、経営改善や農業・水産業の担い手の確保・育成などを支援し、まちの活性化を図ります。

また地域特性に配慮した都市拠点整備として、辻堂駅西口地区、香川地区及び浜見平地区の整備を継続し、市民生活の利便性の高い活力あるまちづくりを目指します。

一般会計	件 数	概算事業費
政策的事業	25	4,938 百万円
定例・定型的事業	71	610 百万円
人件費		917 百万円

一般会計概算事業費合計	6,465 百万円
-------------	-----------

施策目標：49

多くの人々を誘う魅力あるまちづくりを支援する（産業振興課）



施策の方向性

1 企業の安定的な経営支援

市内企業が、安定した経営を行えるように関係機関と連携を図り、金融支援や経営指導などを行い、企業の安定した経営基盤の整備について支援します。

2 企業の立地支援

新たな交通網の整備を視野に入れ、企業の立地を図り、雇用の創出を支援します。

3 茅ヶ崎ブランド製品の販売促進支援

地域の特産品や産業の連携で、茅ヶ崎ブランド製品の創出を進めるとともに、関係団体と連携し、効果的な情報発信と流通経路の確立を支援します。

4 魅力ある商店街と個店の育成支援

地域の魅力を生かした商店街の育成を支援するとともに、個性ある個店の魅力づくりを、関係機関と連携して支援します。

5 観光資源の開発の促進

海や里山の自然に恵まれた地域の特性を生かした観光資源の開発や、既存の資源の有効活用を促進し、観光イベントを充実します。

6 回遊性の確保

茅ヶ崎海岸や里山公園などの観光資源や、地域に根付いた地域資源が多数存在します。多くの居住者や来訪者が利便的な移動が可能となるように、交通機関の活用も含めた回遊性を確保します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
市内における増加事業所数	119 事業所 （平成21年度）	120 事業所	法人の新規開設事業所数から廃業所数との差を測ります。企業の操業環境を支援し、新規開設事業所数を増やします。経済状況の悪化が見込まれる中、現状の数値を維持することを目標としました。
観光客消費額	1,299 百万円 （平成21年度）	2,000 百万円	市内の観光客の消費額を図ります。観光客の誘致や観光資源の活用などにより観光客の消費額を増やします。年200百万円前後の増加を目指すことを目標としました。 観光客消費額：年間の観光客数に1人当たりの平均消費額を乗じた額

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
中小企業経営安定支援事業		中小企業の経営基盤の確立と経営の近代化を促進し、 中小企業の健全な発展を図るため、茅ヶ崎市中小企業融資制度と創業支援融資信用保証料補助制度などを時代背景に応じて、より利用しやすい制度とします。 また、中小企業を対象とした経営相談・経営診断を実施し、健全な発展を支援します。				指標 中小企業融資制度が有効だと判断した企業の割合	
施策の方向性						目標	
1 企業の安定的な経営支援						平成23年度 60.0%	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 65.0%	
事業主体	市	平成23～25事業費	2,393,959 千円			平成25年度 70.0%	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	■ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
企業の誘致・立地への支援		新たな企業の進出や既存企業の設備投資などを支援し、産業の活性化を図ります。優遇施策の周知を行うとともに、優遇施策を活用し、積極的に企業支援を行います。 ※奨励措置適用申請件数（平成21年度）：3件				指標 奨励措置適用申請件数	
施策の方向性						目標	
2 企業の立地支援						平成23年度 30件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 30件	
事業主体	民間	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度 30件	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標		
商店街の魅力とにぎわい創出事業		商業の活性化を図るために、地域商店街が実施する販売の促進を図る事業、独自性のある戦略的販売促進事業、空き店舗を活用する事業、コミュニティビジネスなどに対し、補助金の交付や必要に応じた支援を行います。 ※補助件数（平成21年度）：28件				指標 補助件数		
施策の方向性						目標 平成23年度 28件		
4 魅力ある商店街と個店の育成支援						平成24年度 29件		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 30件		
事業主体	民間	平成23～25事業費	54,408 千円					
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心						
地域	☒ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標	
海岸利便施設の整備		交流拠点となっているサザンビーチ周辺地区の利便性の向上を図るため、海岸利用者のためのトイレや足洗い場を設置します。 ※海岸利便施設の整備（平成21年度）：庁内検討会議の開催				指標 海岸利便施設の整備	
施策の方向性						目標 平成23年度 関係機関・団体調整	
5 観光資源の開発の促進						平成24年度 関係機関・団体調整	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 関係機関・団体調整 整備	
事業主体	市・民間	平成23～25事業費	40,000 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 ■ 南湖 ■ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
観光資源の回遊性の充実事業		観光客の回遊性の向上と滞在時間を長期化させる仕組みを構築し、観光資源のネットワーク化や観光スポット間の移動手段を整理します。また、茅ヶ崎の魅力を発信します。 ※観光資源の回遊性の充実（平成21年度）：観光ルート作成				指標 観光資源の回遊性の充実	
施策の方向性						目標	
6 回遊性の確保						平成23年度 基礎調査/観光素材集作成 平成24年度 基礎調査/マップを利用しての情報発信	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	基礎調査/マップを利用しての情報発信	
事業主体	市・民間	平成23～25事業費	6,090 千円			平成25年度 基礎調査/マップを利用しての情報発信	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

中小企業特許取得支援事業

(1 企業の安定的な経営支援)

中小企業の技術や製品開発を促進し、企業の独自性や優位性を発揮させるため、特許制度に関するセミナーや特許取得者へ補助金を交付します。

中心市街地商業活性化補助事業

(4 魅力ある商店街と個店の育成支援)

中心市街地の中小小売商業の振興を図るため、商工会議所に商業活性化補助金を交付します。

海水浴場運営事業

(5 観光資源の開発の促進)

本市のランドマーク的存在である海水浴場のイメージアップを図るための管理・運営を行います。

観光客誘致事業

(6 回遊性の確保)

観光客の誘致を図るため、茅ヶ崎市観光協会に観光ガイドマップなどの作成及び誘客キャンペーン事業に対して補助を行います。

施策目標：50

農業・水産業の振興と農地・海浜の保全・活用を進める（農業水産課）



施策の方向性

1 異業種交流の場の提供

農・水産・商業による異業種交流の場の提供を行い、新たなビジネスチャンスの創出を行います。

2 経営の安定化支援

農業・水産業の担い手の確保育成や経営能力の向上を図り、魅力ある産業として就労意欲が高まるような仕組みづくりを進め、経営の安定化を支援します。

3 地産地消の推進

農業・水産業は環境や食の安全に対する消費者の関心の高まりと地場産業振興の観点から地産地消を進めるとともに、消費地の中に生産地がある特徴を生かし地産地消の拠点づくりを進めます。

4 海岸侵食対策の推進

漁港西側に堆積する砂を中海岸へ搬送するとともに、関係機関へ要望し侵食対策を推進します。

5 海岸活用の支援

海浜地の利用に対して、湘南海岸の特性が生かせるようなイベントなどの開催に対し支援します。

6 農地の保全・活用の推進

生産基盤整備や意欲の高い担い手への農地の利用集積を進め、優良農地の確保と有効利用を図り、農地の保全・活用を推進します。

7 海岸の保全・活用の推進

海岸の基盤整備などを行い、利便性の向上を図るとともに海岸の保全・活用を推進します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
耕地面積	379ha (平成21年度)	373ha	有効利用されている農地面積を測ります。今後も増加が見込まれる耕作放棄地について、有効利用策を効果的に推進することにより、耕地面積の減少幅を縮小します。毎年1%程度減少していますが、耕作放棄地の年2haの解消と発生防止に努め、耕地面積373haを目標としました。
漁業の組合員数	71人 (平成21年度)	70人以上	漁業の組合員数を測ります。漁業に従事する後継者の育成・確保を図ることにより、現状の漁業の組合員数を維持することを目指しました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標	
農業後継者等育成対策事業		農業後継者団体活動支援事業として、農業後継者団体であるＪＡさがみ青壮年部の組織強化及び同団体が農業理解と都市農業の推進のため、実施する体験農園事業を支援します。 新規就農支援事業として、農業の新たな担い手を積極的に確保するため、藤沢市・寒川町とも連携し広域で取り組みます。 ※新規就農研修支援人数（平成21年度）：0人				指標 新規就農支援人数	
施策の方向性						目標	
2 経営の安定化支援						平成23年度 1人	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 2人	
事業主体	市	平成23～25事業費	720 千円			平成25年度 2人	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
地産地消推進事業		地産地消の推進による都市農業の振興及び農業理解の促進を図るため、農業者の地産地消を推進する取り組みに対し、農業者団体などを通じた支援を行うとともに、農産物の多様な地場流通販売の促進や市民の農業理解の向上を図ります。 ※地場農産物普及の取り組みによる事業所等への斡旋成立件数（平成21年度）：10件				指標 地場農産物普及の取組による事業所等への斡旋成立件数	
施策の方向性						目標	
3 地産地消の推進						平成23年度 10件	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 10件	
事業主体	市	平成23～25事業費	66,429 千円			平成25年度 10件	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
海岸侵食防止対策推進事業		侵食の著しい海岸線を豊かな海浜に再生するため、漁港西側に堆積する砂を掘削・集積し、侵食の著しい中海岸へ運搬・養浜を行います。 ※堆積砂の移動（平成21年度）：3,000m³				指標 堆積砂の移動	
施策の方向性						目標	
4 海岸侵食対策の推進						平成23年度 3,000m³	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 3,000m³	
事業主体	市	平成23～25事業費	8,295 千円			平成25年度 3,000m³	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☐ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☒ 南湖 ☒ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
柳島向河原地区土地利用推進事業		柳島向河原地区の営農環境の改善、都市農業の活性化並びに持続的な発展を図るため、都市農業の活性化として、地区内の農業施設の整備を目指すとともに、農地の集約、土地利用のゾーニングなど農地の集約化を推進します。 ※農業施設の整備（平成21年度）：意向調査				指標 農業施設の整備	
施策の方向性 6 農地の保全・活用の推進						目標 平成23年度 基本計画策定	
継続						事業実施年度 23年度 24年度 25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	57,000 千円			平成24年度 地元調整・設計	
政策共通認識		☒ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心				平成25年度 排水管等整備	
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湖北	☐ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☒ 湘南 ☐ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
耕作放棄地解消対策事業		耕作放棄地の発生防止と解消により、農地の有効利用の促進を図るため、農家とボランティアが協力し、市内にある耕作されなくなった農地を市民農園などへ改良します。 ※事業実施による対象農地面積（平成21年度）：87a				指標 事業実施による対象農地面積	
施策の方向性						目標	
6 農地の保全・活用の推進						平成23年度 180a	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 160a	
事業主体	市	平成23～25事業費	582 千円			平成25年度 330a	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 ■ 協働 ■ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
水田保全対策事業		市内で収穫されたお米を学校給食米や災害備蓄食糧（おかゆ）として活用し、お米の地産地消を推進し、農家の生産意欲・保全意識の向上を図ります。 また、市民へ、水田の持つ景観機能の周知を図るため、レンゲ草を植栽します。 ※水田保全策実施面積（平成21年度）：210a				指標 水田保全策実施面積	
施策の方向性						目標 平成23年度 230a	
6 農地の保全・活用の推進						平成24年度 230a	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 230a	
事業主体	市	平成23～25事業費	4,380 千円			平成25年度 230a	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☒ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☒ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☒ 鶴嶺東 ☒ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☒ 松林 ☒ 湘北 ☒ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☒ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
農とみどりの整備事業		芹沢地内の排水路が経年の影響により、機能が低下しています。農業生産の効率を向上させるため、排水路整備を実施します。 ※排水路整備延長（平成21年度）：1,419m				指標 排水路整備延長	
施策の方向性						目標 平成23年度 L=150m	
6 農地の保全・活用の推進						平成24年度 L=80m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 L=100m	
事業主体	市	平成23～25事業費	25,000 千円				
政策共通認識		□ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 ■ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
農道・用排水路整備事業		農業施設の老朽化や未整備により農作業に支障をきたしている地区があることから、農業用道路及び用排水路の整備を行います。 ※農業用道路整備延長（平成21年度）：370.7m				指標 農業用道路整備延長	
施策の方向性						目標 平成23年度 L=190m	
6 農地の保全・活用の推進						平成24年度 L=90m	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 L=200m	
事業主体	市	平成23～25事業費	23,516 千円				
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☒ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☒ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☒ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☒ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
漁港区域整備基本構想に基づく道路整備事業		漁港区域の国有海浜地払い下げに伴う基盤整備を図り、海岸利用者の利便性を図るため、漁港区域内の道路整備の検討を行います。 ※道路整備（平成21年度）：工事延長196.9m				指標 道路整備	
施策の方向性						目標 平成23年度 —	
7 海岸の保全・活用の推進						平成24年度 —	
継続		事業実施年度			25年度		
事業主体	市	平成23～25事業費	— 千円			平成25年度 調整・検討	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 ■ 南湖 ■ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
国有海浜地払い下げ促進事業		漁港区域の国有海浜地は公益性を喪失していることから、用途の廃止及び払い下げについて、国及び県・占用者と調整を行い、平成24年4月を目途に用途廃止を行います。 用途廃止後の払い下げについては関東財務局横浜財務事務所が実施します。 ※事業の進捗状況（平成21年度）：協議6回				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度協議	
7 海岸の保全・活用の推進						平成24年度用途廃止	
継続		事業実施年度	23年度	24年度			
事業主体	市	平成23～25事業費	一 千円			平成25年度—	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☐ 全市	☐ 茅ヶ崎 ☐ 松林	☐ 南湖 ☐ 湘北	☒ 海岸 ☐ 小和田	☐ 鶴嶺東 ☐ 松浪	☐ 鶴嶺西 ☐ 浜須賀	☐ 湘南 ☐ 小出

主要な定例・定型的事業

環境保全型農業の推進事業

(2 経営の安定化支援)

環境に負荷を与えない地域循環型農業及び優良農地の保全と化学肥料を使用しない環境に優しい土づくりを推進します。

援農ボランティア事業

(2 経営の安定化支援)

人手不足を感じている農家が増加している中、農家に援農ボランティアを派遣するとともに、研修講座を行い、即戦力となるボランティアを養成します。

漁港外郭施設・漁港区域の維持管理事務

(5 海岸活用の支援)

漁港区域内の堆積砂の除去や自動車・船舶類放置禁止区域の放置禁止物件の処理を実施するなど、漁港区域の適正な管理を行います。

農地保全管理事業

(6 農地の保全・活用の推進)

農地の適切な保全管理や地元農業者と住民との交流・学習の場として、農業ふれあい広場の維持管理を行うとともに「農業振興地域整備計画」の見直しを行います。

家庭菜園事業

(6 農地の保全・活用の推進)

市民の土と親しみ余暇の充実を図るため、遊休農地を家庭菜園として市民に提供し、農作業を通して農業への理解と関心を深めてもらうとともにその有効利用を図ります。

施策目標：5.1

充実感をもって働けるための就労を支援する（雇用労働課）



施策の方向性

1 充実した労働支援の実現

関係機関と定期的な意見交換を通じ情報を共有することで連携を強化し、充実した就労支援体制を整えます。

2 ワーク・ライフ・バランスの促進

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて、市内事業所との協力体制を構築します。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
新規就業者数	1,103 人 （平成21年度）	1,600 人	就職活動支援が効果的に行われたかを新規就業者数で測ります。就職に関する相談やカウンセリング、求人情報の提供をはじめ、各種講座、セミナーによる知識や技術の習得により就職・転職活動を支援します。毎年、新規就業者数を10%程度増加させることを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標		
勤労者福祉事業		勤労者世帯の経済的な負担軽減を図るため、勤労者の二一ズの把握に努め、住宅、教育資金の融資に関わる利子の一部の補給や低利による資金の貸し付けを行います。 ※住宅・教育資金利子補給利用件数（平成21年度）：351件				指標 住宅・教育資金利子補給利用件数		
施策の方向性						目標 平成23年度 360件		
1 充実した労働支援の実現						平成24年度 390件		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 420件		
事業主体	市	平成23～25事業費	558,900 千円					
政策共通認識		□ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心						
地域	■ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出	

事業名		事業概要				指標・目標		
若年労働者キャリア形成支援・相談事業		若年層を対象に今後の職業人生の設計や職場での対人関係の悩みなど、一人一人の課題に応じ、専門のキャリアコンサルタントによる相談を実施します。 ※利用者数（平成21年度）：112人				指標 利用者数		
施策の方向性						目標 平成23年度 110人		
1 充実した労働支援の実現						平成24年度 112人		
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 114人		
事業主体	市	平成23～25事業費	2,160 千円					
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心						
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出							

事業名		事業概要				指標・目標	
湘南就職面接会事業		求職者に就職の機会を提供し、求人企業にとって、有能な人材確保につながる合同就職面接会を開催します。 ※参加者数（平成21年度）：549人 採用者数（平成21年度）：22人				指標 参加者数 採用者数	
施策の方向性						目標	
1 充実した労働支援の実現						平成23年度 300人 20人	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 300人 25人	
事業主体	国・3市1町	平成23～25事業費	900 千円			平成25年度 300人 30人	
政策共通認識		☐ 共生社会 ☐ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心					
地域	☒ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☐ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

事業名		事業概要				指標・目標	
地域職業相談事業		公共職業安定所が茅ヶ崎市では未設置なことから、藤沢公共職業安定所と連携して職業紹介・相談が可能な場所を設置し、職業相談事業を行います。 ※利用者数（平成21年度）：47,287人				指標 利用者数	
施策の方向性						目標 平成23年度 40,000人	
1 充実した労働支援の実現						平成24年度 40,800人	
継続		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 41,600人	
事業主体	国・市	平成23～25事業費	6,696 千円				
政策共通認識		■ 共生社会 □ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 □ 安全・安心					
地域	■ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 □ 小和田 □ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出						

主要な定例・定型的事業

勤労市民会館の維持管理

(1 充実した労働支援の実現)

民間のノウハウを活用し、施設利用者・勤労者・求職者にとって、満足度の高い会館運営・事業などの企画・実施を図ります。

事業所訪問事業

(1 充実した労働支援の実現)

事業所の活性化や雇用の維持・拡大に向け、労政アドバイザーの協力を得て事業所を訪問し、行政への要望などを把握します。

労働相談事業

(1 充実した労働支援の実現)

社会保険労務士による職場での問題や社会保険、年金などの疑問に関する相談を勤労市民会館で実施します。

障害者雇用啓発事業

(1 充実した労働支援の実現)

事業者や労働者の理解を含めた新たな職域開拓や就労可能な障害者と事業所とのマッチングを行うことにより、就労が可能な障害者の就職活動を支援します。

技能者育成事業

(1 充実した労働支援の実現)

技能者のさらなる技能・技術を磨くとともに、後進の育成指導により各業種の発展を図るため、同一業種に永年従事し、技能の錬磨及び後進の育成などの顕著な活躍のあった技能者を表彰するとともに、情報発信することにより、その業種の向上発展に寄与します。

労働団体育成事業

(2 ワーク・ライフ・バランスの促進)

健全な労働運動の展開、地域労働者の福祉活動の推進を図るために、労働団体の労働運動や自主福祉活動に関する事業費に対して一部助成を行います。

施策目標：5.2

地域特性に配慮した都市拠点を整備する（拠点整備課）

施策の方向性

- 1 住宅、商業、工業などが調和した土地利用の誘導（辻堂駅西口周辺）
 辻堂駅西口周辺は、隣接する藤沢市の湘南C-X（シークロス）を軸に、駅施設の改良などの整備を進め、住宅、商業や工業などが調和した土地利用へと誘導します。
- 2 交通基盤の整備・都市機能の導入（香川駅周辺）
 香川駅周辺の交通基盤の整備や都市機能の導入を段階的に進めます。
- 3 公共施設・商業施設の段階的整備（浜見平地区周辺）
 浜見平地区は、周辺地区も含め、少子・高齢化を考慮し、団地の建て替えに合わせ生活の利便性や防災性の向上を目指すとともに、地域に必要な公共施設や商業施設の整備を段階的に進めます。
- 4 基盤整備の推進（萩園地区）
 萩園地区は、産業系土地利用への誘導を図るための基盤整備の推進を図ります。
- 5 都市整備の推進
 市街地の基盤整備や市街地再開発を推進し、防災性の高いまちづくりを進めます。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
「辻堂駅西口周辺整備事業」の整備進捗率	18.1% （平成21年度）	37.8%	総事業費に対し、執行事業費の割合を算出します。藤沢市の湘南C-Xの土地利用計画と連携し、段階的な都市基盤施設整備を進めます。平成46年度の完了を目指し、整備進捗率を年約5%ずつ増加させることを目標としました。
「香川駅周辺地区整備事業」の整備進捗率	0.6% （平成21年度）	11.6%	総事業費に対し、執行事業費の割合を算出します。相模線の利便性向上を見据え、段階的に駅周辺の交通基盤を進めます。平成37年度の完了を目指し、整備進捗率を年約3%ずつ増加させることを目標としました。
「浜見平地区拠点整備事業」の整備進捗率	3.4% （平成21年度）	31.1%	UR都市再生機構の団地建替え事業に合わせ、少子・高齢化を考慮し生活利便性向上や防災性の向上を目指し、松尾川の緑道化・左富士通りの電線類地中化を進めます。平成43年度の完了を目指し、整備進捗率を年約7%ずつ増加させることを目標としました。

政策的事業

事業名		事業概要				指標・目標
辻堂駅西口周辺整備事業		藤沢市の湘南C－X都市再生事業を軸とし、平成18年3月策定の辻堂駅西口重点整備地区整備計画に基づいた基盤整備を行い、住宅・商業・工業などが調和したまちづくりを進めるため、平成23年度末までに辻堂駅西口駅舎及び自由通路の整備を行います。 また、辻堂駅西口周辺における基盤整備などの事業化を検討します。 ※辻堂駅西口周辺整備（平成21年度）：市境道路及び辻堂駅西口北側跨線橋工事				指標 事業の進捗状況
施策の方向性						目標
1 住宅、商業、工業などが調和した土地利用の誘導（辻堂駅西口周辺）						平成23年度 西口駅舎及び南側跨線橋工事完了 平成24年度 既存跨線橋撤去工事完了 平成25年度 事業の検証
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	
事業主体	市	平成23～25事業費	672,174 千円			
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心				
地域	□ 全市 □ 茅ヶ崎 □ 南湖 □ 海岸 □ 鶴嶺東 □ 鶴嶺西 □ 湘南 □ 松林 □ 湘北 ■ 小和田 ■ 松浪 □ 浜須賀 □ 小出					

事業名		事業概要				指標・目標	
香川駅周辺整備事業		住民との協働によるまちづくりを継続的に展開しながら、将来の相模線の利便性向上を見据え、西口駅前広場及び交通基盤の整備を進めます。 ※西口駅前広場整備（平成21年度）：西口駅前広場設計				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 用地購入・補償	
2 交通基盤の整備・都市機能の導入（香川駅周辺）						平成24年度 用地購入・補償	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 用地購入・補償	
事業主体	市	平成23～25事業費	362,669 千円			平成25年度 整備完了	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	□ 南湖 ■ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	□ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
浜見平地区拠点整備事業		UR都市機構による団地の建て替えに併せ、生活利便性や防災性の向上を図るため、松尾川雨水幹線の暗渠化・緑道化工事、鉄砲道などの電線類地中化工事、住民などからなるまちづくり協議会の開催を実施します。平成22年10月策定の「浜見平地区まちづくり整備実施計画」に基づき、事業実施や都市デザインの調整を行うため、市・UR都市機構・学識者からなる（仮称）浜見平まちづくり推進会議を設立し、運営支援を行います。 ※浜見平地区拠点整備（平成21年度）：松尾川雨水幹線暗渠化156m				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標	
3 公共施設・商業施設の段階的整備（浜見平地区周辺）						平成23年度 電線地中化247m	
継続拡充		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成24年度 暗渠化341m 電線地中化314m	
事業主体	市	平成23～25事業費	523,397 千円			平成25年度 緑道化129m 歩道整備950m	
政策共通認識		■ 共生社会 ■ 環境 □ 協働 □ 生涯学習 ■ 安全・安心					
地域	□ 全市	□ 茅ヶ崎 □ 松林	■ 南湖 □ 湘北	□ 海岸 □ 小和田	□ 鶴嶺東 □ 松浪	□ 鶴嶺西 □ 浜須賀	■ 湘南 □ 小出

事業名		事業概要				指標・目標	
萩園地区産業系市街地整備事業		相模縦貫道の開通に伴い、交通利便性が向上する萩園地区において、乱開発防止や地域の環境に配慮しつつ、産業系（工業・流通系）への土地利用転換の促進を図るため、周辺開発（田端西地区）や既存の工業団地などと連携した土地利用を行います。				指標 事業の進捗状況	
施策の方向性						目標 平成23年度 合意形成	
4 基盤整備の推進（萩園地区）						平成24年度 事業計画（案）策定	
新規		事業実施年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度 事業計画策定	
事業主体	民間	平成23～25事業費	47,200 千円				
政策共通認識	☐ 共生社会 ☒ 環境 ☐ 協働 ☐ 生涯学習 ☐ 安全・安心						
地域	☐ 全市 ☐ 茅ヶ崎 ☐ 南湖 ☐ 海岸 ☐ 鶴嶺東 ☒ 鶴嶺西 ☐ 湘南 ☐ 松林 ☐ 湘北 ☐ 小和田 ☐ 松浪 ☐ 浜須賀 ☐ 小出						

政策目標
14

農地の適正で有効な利用を図る

政策目標における3年間の目指すべき方向性

農家の高齢化や後継者の不足に伴う農地の減少傾向にある中で、農地の使用貸借など権利関係の調整などにより、効率的な利用を図り農業の発展、推進に努めます。

一般会計	件 数	概算事業費
定例・定型的事業	12	5 百万円
人件費		163 百万円
一般会計概算事業費合計		168 百万円

施策の方向

1 適正な農地利用の管理

後継者不足に伴い農地の減少がみられる中、農地の使用貸借など利用関係の調整、交換分合による効率的な利用の促進を図ります。また、農地法に基づき転用規制の厳格化などにより農地の確保を図ります。

指標 施策目標の達成状況を把握する目安となる数値

指標名	現状値	平成25年度の目標値	指標の説明・意図
耕作放棄地面積	47.0ha (平成21年度)	49.0ha	耕作放棄地は、農業者の高齢化や後継者不足などから、年2.5ha程度の増加傾向を示しています。利用権の設定・耕作放棄地解消ボランティアの活動支援、県農業サポーター制度農地の手配等により、年平均2.0haの農地復元・防止を見込み、増加面積について年0.5haを目標としました。

主要な定例・定型的事業

農業の発展、推進に関する事業

(1 適正な農地利用の管理)

農業発展、推進のため、各種品評会への会長賞の交付や、関係機関との情報交換・交流で得た情報などを農家だより「ふれあい」等を通じて提供します。

農業委員会総会等の開催

(1 適正な農地利用の管理)

農業委員会総会等を月一回定期的に開催し、許可申請書等の審査を実施します。

遊休農地の有効利用に係る事務

(1 適正な農地利用の管理)

市内の遊休農地の有効利用を図るため、農地法に基づき毎年 1 回全ての農地の利用状況を調査し、指導・勧告を実施します。

農地基本台帳の整備・保管

(1 適正な農地利用の管理)

実施要領の変更により、農業基本台帳については、これまでの農家単位から土地単位で台帳管理を行うこととなりました。このため、資産税課データを基に台帳を整備します。また、旧書式についても引き続き管理を行い、事務の効率化を図ります。